

# 戦略企画会議から

Progress Report from the Strategic Planning Committee

戦略  
企画  
会議

## 2022年10月から本格的に新専門医制度への移行が始まります！

### <新専門医制度の移行時期に関する議論>

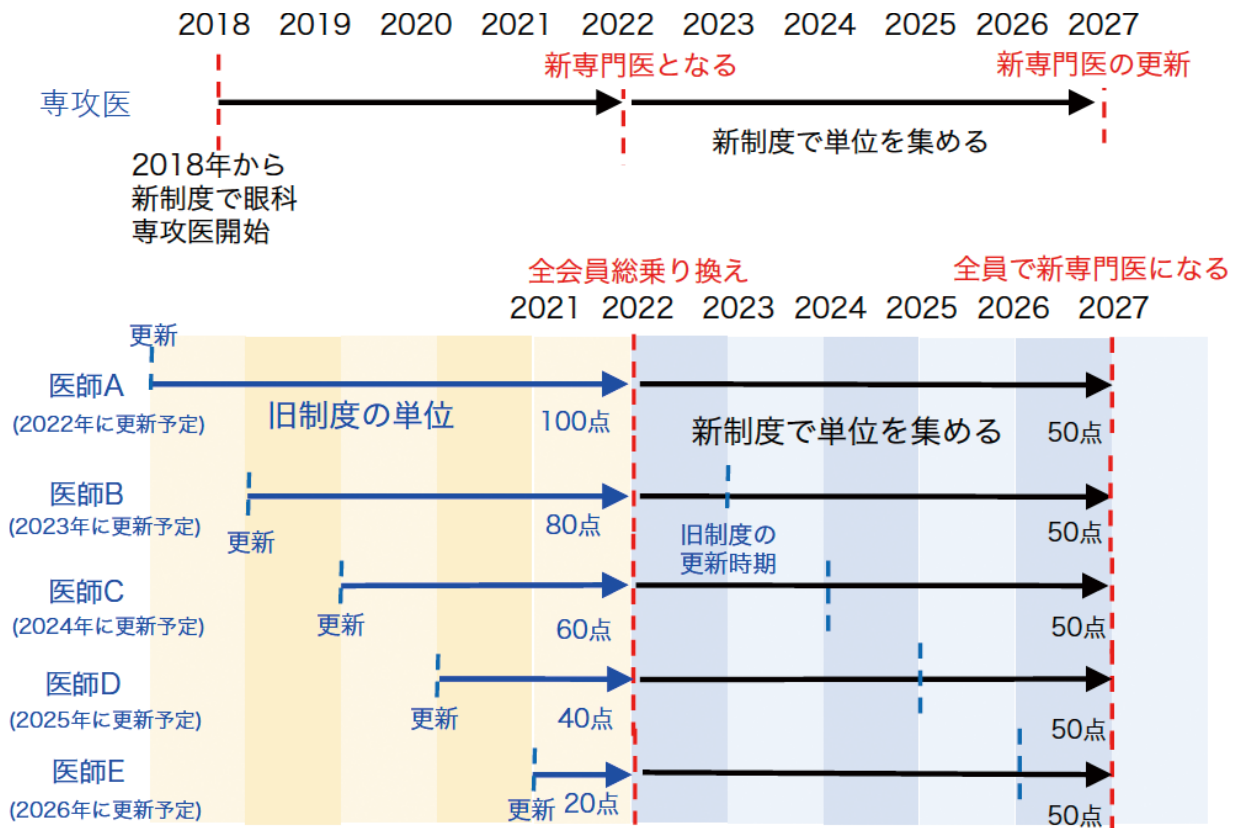
日本眼科学会が新専門医制度への移行(乗り換え)を開始する時期については、これまで専門医制度委員会を中心に議論されてきました。現在、19の基本領域診療科のほとんどがすでに新専門医制度への移行を開始しています。

これまで移行の時期を少し遅らせていた一番の理由は、他科の移行状況を詳しく把握することにより、なるべく混乱を避けてスムーズに新専門医制度に移行したいと考えていたからです。実際、眼科より先に新専門医制度への移行を開始した診療科の中には、先生方が新専門医制度の仕組みを十分理解できない、あるいは単位の認定ができる講演会場に聴衆が殺到する、などの問題が生じていることが分かりました。こうした

状況は、眼科の移行方針を考えるうえで大変参考になりました。

### <なぜ2022年10月から開始することになったか>

初期臨床研修を終えて2018年以降に眼科専攻医として専門研修を開始した医師は、日本専門医機構による新専門医制度のプログラムに準じて専門研修を実施しています(図1上)。そして、4年間の眼科専門研修を修了し2022年6月の専門医認定試験に合格すると、2022年10月にはいわゆる「日本専門医機構による新専門医」になります。さらに、そこから「日本専門医機構のルールに従った方法」で5年間に50単位を取得することによって2027年には新専門医の更新を行う



※ 特別措置案：2022年に単位不足の会員もすべて移行させ、その後5年の新制度での余剰単位で認める

図1 現在の眼科専門医制度から新専門医制度へ移行するイメージ。

2022年10月から本格的に新専門医制度への移行が始まります！

専門医カードに記載してある有効期限によって、2022年9月30日までに取得すべき単位数が異なる	
専門医カードに記載してある有効期限	2022年9月30日までに取得すべき単位数
2022年9月30日	100
2023年3月31日	90
2023年9月30日	80
2024年3月31日	70
2024年9月30日	60
2025年3月31日	50
2025年9月30日	40
2026年3月31日	30
2026年9月30日	20
2027年3月31日	10

図 2 2022年9月30日までに現行の眼科専門医制度で取得すべき必要な単位数。

こととなります。つまり、眼科は2022年10月には「日本専門医機構のルールに従った方法」で単位取得を開始できるようにしなければなりません。

これまで日本眼科学会の眼科専門医であった多くの先生方も全員一斉にこのタイミングで新専門医への乗り換えを開始しようという案(図1下)が提案され、2021年11月の専門医制度委員会の議を経て、日本眼科学会常務理事会の承認を得ました。

### <2022年9月末までに、何をしておけばよいのか?>

これまでの眼科専門医制度では、5年間に学会に出席するなどして合計で100単位を取得することにより専門医を更新してきました。2022年10月1日からは、新しい日本専門医機構の専門医制度で単位取得を開始します。

そこで先生方には、2022年9月30日までに現在の眼科専門医の単位を必要な分だけ取得していただくことをお願いいたします。2022年9月30日までに取得すべき必要な単位数は、眼科専門医カードに記載してある有効期限によって異なります(図1下、図2)。

例えば2022年9月30日が有効期限の方(図1下の医師A)は、予定どおり100単位を取得していただきます。2023年9月30日が有効期限の方(図1下の医師B)は、2022年9月30日までに80単位を取得していただきます(前回の更新日から2022年9月30日までは4年間ですので、残り1年間20単位を差し引いた単位)。同様に2024年9月30日が有効期限の方(図1下の医師C)は2022年9月30日までに60単位を取得していただきます。つまり、有効期限がいつであるかにより取

得すべき単位数が異なりますので注意が必要です。

ご自身が2022年9月30日までに眼科専門医制度で何単位取得しておけばよいか、確認する場合は、

- (1) まず、ご自身の眼科専門医カードを見て、有効期限を確認してください。
- (2) ご自身の有効期限が分かりましたら、図2によって2022年9月30日までに何単位を取得すればよいかを確認してください。

### <現時点で何単位取得できているかを確認するには?>

おそらくほとんどの方は現時点で自分が何単位取得できているかを詳しく把握していないかと思います。ご自身で取得した単位数を確認するには、以下の4つの方法があります。

- (1) 日本眼科学会のホームページから、「会員専用コンテンツ」をクリックし、「会員マイページ」に入ります。会員マイページへログイン後、自身の単位取得状況を確認できます。ただし本稿執筆時点(2021年12月7日)ではこのサイトは改修中で、2022年1月頃に修正を完了する予定とのことです。もしも「会員マイページ」にまだ入ったことがないという会員の方がおられましたら、1月以降に是非この機会に一度ログインして自分の単位を確認されることをお勧めします。
- (2) メールで日本眼科学会事務局(kousin@po.nichigan.or.jp)にご連絡をいただけましたら、先生方の現在の単位取得状況をメール返信でお知らせいたします。その場合は、どうかご自身の氏

名と眼科専門医登録番号(カードに書いてあります)をメールでお知らせください。

- (3) メールでの問い合わせが難しい場合、Fax(03-3293-9384)でも受け付けます。その場合も、どうかご自身の氏名と眼科専門医登録番号(カードに書いてあります)をFaxに記入してください。
- (4) 従来どおり、年に1回郵送でこれまでの単位取得状況をお知らせします。4月更新の先生方には6月頃にお知らせします。10月更新の先生方には昨年12月頃に単位取得明細書が郵便で届いているはずですので、参考にしてください。

### ＜2022年9月末までに必要単位数を取得できなかった場合には新専門医に移行できない?＞

2022年10月の移行の際に、これまで日本眼科学会の専門医であった方は全員新専門医制度への移行を開始することにします。9月末の時点で必要な単位数が取得できていなかった専門医の方も自動的に新専門医制度に移行していただきます。

9月末の時点で不足していた単位分は、2022年10月から始まる新専門医制度の単位数を5年間に余分に取得し補っていただくことで、2027年の更新を認定します。その詳細については、また追って連絡します。

### ＜2022年10月からは、どうやって5年間で50単位を集めればよいか＞

2022年10月からは新専門医制度の規則に従い、新しい方法により5年間で50単位を集めていくことになります。その細かな方法については、現在、日本専門医機構と相談しながら規則を検討している段階であり、追って詳細を案内する予定です。現時点でお伝えできる新専門医制度の単位取得の重要なポイントは、以下のとおりです。

- ・診療実績の証明リスト(5年間で経験した50症例の診療内容記載リスト)を提出することで、5単位が認定される。

- ・共通講習(すべての診療科の医師が受講しなければいけない講習)が8つ〔必修講習A:医療安全、感染対策、医療倫理、必修講習B:医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、医療経済(保険医療等)、両立支援〕あり、これを受講することで8単位が認定される。
- ・従来どおり学会出席や講演会の受講、学会発表や論文発表、教材による単位認定、学校医などの実績により認定する。
- ・これまでは学会や講演会の受講では1時間の講演会で1単位が認定されていたが、新専門医制度では5年で50単位と半分になることもあり、1時間の講演会で0.5単位を認定する予定である。
- ・コロナウイルスの影響が見通せない状況であること、また現地参加が難しい専門医の情状を考慮して、Web方式の講演会に対しても従来どおり単位を認めていく予定である。

### ＜移行期に専門医と名乗ることは問題ないか＞

これに関しては、日本専門医機構を通して厚生労働省に確認しました。これから新専門医制度への移行を開始する先生は、2027年に認定されれば「日本専門医機構による新専門医」を名乗ることができます。それまでの移行期間においても、現行の「日本眼科学会専門医」として専門医を名乗ることができます。

### ＜最後に＞

以上が現時点で皆様にお伝えできる新専門医制度への移行状況です。今後さらに細かな要領が決まりましたら、追って分かりやすくお伝えする予定です。

最後に、今回の新専門医制度への移行は多かれ少なかれ混乱が生じることが予想されます。これまで移行してきた他科も、最初の1、2年はほぼすべてが混乱しています。そこで、会員の皆様には移行にともなう情報を正しくご理解いただき、なるべく多くの先生方がスムーズに新専門医への移行に成功するようにご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。